

今週のビルマのニュース
2010年3月5日【1009号】

中国国境で緊張高まる カチン軍も臨戦態勢

・シャン州からの情報によれば、対空砲などを備えた中国軍兵士約2000人が、ビルマ・ワ州州都パンサンから国境を隔てた地域に集まっている。パンサンの南約100キロの所では、ビルマ軍が最近購入したミグ29戦闘機の演習を行っているとの情報もある。「ビルマ軍が攻撃を仕掛けるなら（ワ州連合軍に対してではなく）シャン州軍南部に対してになるだろう」とする観測筋もあり、シャン州軍南部も警戒している（3日シャン・ヘラルド）。ワ州連合軍等と同様、軍部を国境警備隊に改編するよう軍政から大きな圧力をかけられているカチン独立機構（KIO。軍部はKIA）も、ビルマ軍による攻撃に備えて臨戦態勢を取っている。軍政は、国境警備隊への改編について回答するようKIOに求めていたが、KIOは期限の2月28日までに回答しなかった（3日ミジマ）。

【背景】軍政は今年予定の総選挙を前に、停戦協定を結んだ武装組織に対しそれぞれの軍部を国境警備隊に再編し、国軍の指揮下に入れるよう要求しているが、ワ州連合軍やシャン州軍南部は拒否している。

カレン民族同盟「民間人への軍事攻撃を止めろ」

・カレン民族同盟（KNU）は4日に声明を出し、カレン民族の民間人に対する軍事攻撃の停止を軍政に求めるよう、国連事務総長に要請した（4日KNU）。

米政府、ビルマの北朝鮮との軍事関係拡大に懸念

・米政府関係者によればオバマ政権は、ビルマが北朝鮮との軍事協力関係を拡大していることを懸念しており、軍政が北朝鮮から軍事技術を購入しないよう積極的に働きかけている。国務省関係者によれば、オバマ政権が軍政との直接対話を始めることを決めた背景にも、北朝鮮との軍事関係拡大への懸念があった。両政府高官はこれまで4回会合を持ち、まもなく5回目の会合を予定（2日ワシントン・ポスト）。

女性に対する罪についての国際模擬法廷

・ノーベル平和賞を受賞した女性の団体「ノーベル女性イニシアティブ」が今週、ビルマ女性に対する犯罪についての国際模擬法廷をニューヨークで開いた。法廷では、ビルマ軍政によるレイプや拷問、強制労働などの被害を受けたビルマ人女性12人が証言した。終了後、法廷は国連安保理に対し、ビルマの問題を国際刑事裁判所に付託することなどを勧告した（3日ノーベル女性イニシアティブ）。

2007年のデモが題材の映画 オスカー受賞なるか

・アカデミー賞授賞式が7日に行われる。長編ドキュメンタリー部門で「ビルマ VJ 消された革命」が候補。日本では5月から公開予定（BurmaInfo）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など
新たな発表はなし

新刊情報

・世界人権問題叢書 71『ビルマ仏教徒 民主化蜂起の背景と弾圧の記録～軍事政権下の非暴力抵抗』守屋友江＝編訳、根本敬＝解説、ダニエル・シーア、箱田徹、ビルマ情報ネットワーク＝翻訳協力（明石書店から発売中）

イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、1～5日15～16時）

・「ビルマ人権の日」デモ行進 在日ビルマ人共同行動実行委員会主催（恵比寿公園、13日14時～集会（人権侵害のパフォーマンス等）、15時～出発）

・在日ビルマ難民たすけあいの会（BRSA）ワークショップ 聞くことから始めるビルマ難民ソーシャルワーク第三回「入管収容と日本の難民政策」（南大塚地域文化創造館、14日13時～）★要申込

・ロヒンギャ民族集団訴訟（難民不認定処分の取消等）最終口頭弁論（東京地裁709号法廷、4月28日15時～）★日時に変更がありました

もっと詳しい情報は

☆Twitter公式アカウントはこちらです
<http://twitter.com/BurmaInfoJapan>

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165